



MYCLUBON3

CLUB



ユーザーズガイド

目次

クイックスタート	1
MYCHRON3 Club の構成	1
使用のための準備	1
電源	1
初期設定	2
取り付け	3
ディスプレイ(本体)	3
ラップセンサ	3
回転数センサ	3
液温センサ	4
各センサと MYCHRON3 を接続する	4
使用方法のアウトライン	4
データを記録する	4
データを呼び出す	4
データの消去	5
リファレンス	5
MYCHRON3 Club 各部品の詳細	5
ディスプレイ	5
ボタン	6
エンジン回転数センサ	6
液温センサ	7
- 液温センサの取り付け	7
ラップセンサ	7
MYCHRON3 Club の設定方法	7
設定メニューの詳細	7
-Night Vision (バックライト - 購入時オプション)	8
-Clear test data(テストデータクリア)	8
-Beacon obscuring time (ラップ信号無視時間)	8
-Number of Bands (埋設磁石数)	9
-Engine running time (累積走行時間)	9
-Engine Counter (ランニングタイマー選択)	9
-Temperature alarm (液温警告)	9
-Max RPM value (最大回転数)	10
-Spark for Revs (一回転あたりの点火パルス数)	10
-Temperature measure unit (液温表示単位)	10
-Message language (表示言語)	11
-Power Source (電源入力選択)	11
-Firmware Information (ファームウェアバージョン)	11
使用方法の詳細	11
走行中の表示	12
ベストラップタイムを表示する	12

ほかのラップのデータを読み出す	12
特定のラップの詳細なデータを読み出す	13
- オートリプレイ	13
- マニュアルリプレイ	13
記録されているデータを消去する	13
メンテナンス	13
電池の交換	13
<hr/>	
クイックリファレンス	15
<hr/>	

本書について

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- ・ 本書の内容に関して、将来予告無しに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。
- ・ 本書の内容に関して、Aim s.r.l. および有限会社ベアでは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

本書の著作権について

- ・ すべての権利は、Aim s.r.l. および有限会社ベアに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行うことは、一切お断りいたします。

© 2004 BEAR inc.

はじめに

この度はMYCHRON3をお買いあげいただき、有り難うございます。本マニュアルは「クイックスタート」と「リファレンス」の二部構成となっています。初めてMYCHRON3をお使いになる方は、まず「クイックスタート」をお読みください。

さらに詳細な情報については「リファレンス」をご覧ください。

クイックスタート

MYCHRON3-Clubの構成

お買いあげいただいた MYCHRON3 Club には以下のパーツが含まれています。不足部品がある場合は、販売店にご相談ください。

1. MYCHRON3 Club ディスプレイユニット
2. RPM センサ
3. 磁気式ラップセンサ
4. 液温センサ付属セットの場合
液温(M5)・液温(M10)のいずれか



使用のための準備



下記の準備手順は MYCHRON3 を取り付けた後でも行えます。

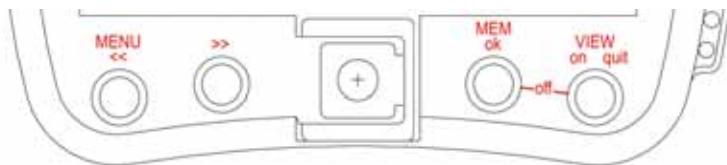
電源

MYCHRON3 本体裏面に「Internal battery: 2 AAA Alkaline」と記載された電池カバーがあるので、2本のねじを緩めて取り外します。リボンを挿んで電池ケースを丁寧に抜き取り、ケース内に記載されている図のとおり単4アルカリ乾電池2本を取り付けます。電池ケースをコネクタの位置に注意して差し込み、カバーを取り付けます。





右端の[VIEW / ON]ボタンを押すと電源が入ります。電源切断は右の2つのボタン([MEM]と[VIEW])を同時に押します。



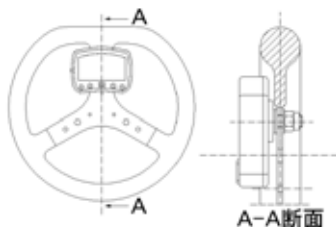
初期設定

1. 左端の[MENU]ボタンを何回か押し、画面に **NUMBER OF BARS** と表示させます。複数の磁石が埋設されているコースなどでは、ここの数字を入力することでスプリットタイム(最初の磁石からの累積タイム)を計測することができます。コースに埋設されている磁石の数を入力します。
2. 値を変更するには、[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。この状態で[MENU]ボタンを押すと、値が一つずつ増加します。最大値は6で、もう一度押すと1に戻ります。[MEM]ボタンを押せば修正が保存され、[VIEW]ボタンでキャンセルされます。
3. [MENU]ボタンを何回か押し、画面に **MAX RPM VALUE** と表示させます。ここで、バーグラフ式タコメータの最大値を設定します。なお、ここで設定した数値よりも大きい入力があった場合には、ノイズとみなされデータは記録されません。
4. 値を変更するには、[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。この状態で[MENU/ <<]か[>>]のボタンを押すと値を変更することができます。[MEM]ボタンを押せば修正が保存され、[VIEW]ボタンでキャンセルされます。
5. [MENU]ボタンを何回か押し、画面に **FAHRENHEIT / CELS** と表示させます。ここで、液温の単位(華氏か摂氏か)を設定します。
6. 値を変更するには、[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。この状態で[MENU/ <<]か[>>]のボタンを押すと値を変更することができます。[MEM]ボタンを押せば修正が保存され、[VIEW]ボタンでキャンセルされます。
7. [VIEW]ボタンを押すと初期画面(初期画面)に戻ります。これで大まかな設定は終了です。

取り付け

ディスプレイ(本体)

ディスプレイ(本体)をカートのステアリングホイールに取り付けます。ステアリングホイールのアーム部分に開いている穴に、ディスプレイ裏面のボルトナットを利用して取り付けます。ナットを締めすぎないように注意してください。締めすぎるとディスプレイケースが破損する場合があります。また、ディスプレイへのダメージを避けるために、付属しているプラスチックワッシャーをMYCHRON3とステアリングの間に挟むようにして取り付けてください。



ラップセンサ

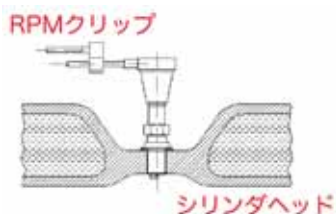
センサに記載されている矢印方向を、車体の前後方向と合わせて、なるべく低い位置に取り付けます。通常はフロアパネルに両面テープで貼り付ければ良いでしょう。



センサに記載されている矢印方向と車体の前後方向を合わせれば、上下左右の向きは取り付けやすい方向でかまいませんが、一番感度が高くなるのはラベル面を上方にした場合です。高い位置に取り付けなければならない場合などには、できるだけラベル面を上側にして取り付けてください。


回転数センサ

回転数センサのコードは、フレームに沿わせてエンジンの背後に取り回します。コードの損傷を防ぐため、ビニールテープかタイラップを使ってフレームに何か所かで固定します。タイラップを使用する場合には、強く締めすぎてコードを切らないように注意して下さい。回転数センサは、他のセンサケーブルからなるべく離して取り回してください。他のセンサケーブルと束ねたりすると、ノイズによる誤作動の原因となりかねません。コードの終端にあるクリップを、スパークプラグコード(コイル側はノイズが大きい場合があるので、プラグキャップ側がベターです)に直接取り付けます。



液温センサ

MYCHRON3に液温センサを取り付ける場合、エンジンの水温センサ取り付け部などに取り付けます。センサはM5 サイズか、M10 サイズです。

 **メモ** 液温センサはエンジンに近い場所に取り付けるため、激しい振動にさらされます。このため、センサやケーブルは必ずきちんと固定してください。

各センサと MYCHRON3 を接続する

すべてのセンサを正しく取り付けたら、MYCHRON3 本体と接続します。ディスプレイユニット裏側に取り付けコネクタがあります。液温センサのケーブルは上側のコネクタに、ラップセンサのケーブルは下側のコネクタに取り付けます。エンジン回転数センサは側面にある2つの穴に通します。



使用方法のアウトライン

データを記録する

MYCHRON3 Club は、電源を入れるだけで走行する準備ができます。

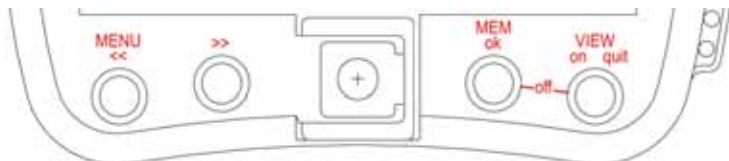
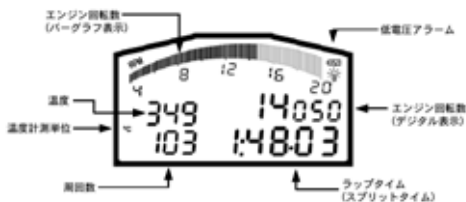
走行を開始すると、上部のバーグラフにエンジン回転数が表示されます。また、左上に液温センサの値が表示されます。

埋設された磁石の上を通過すると、左下に周回数、右下にラップタイム(もしくはベストスプリットタイムと現在のスプリットタイムとの差)が表示されます。

なお、MYCHRON3 Club はエンジン回転数が 1,000rpm 未満の場合には、データを記録しません(タイム自体は表示されます)。

データを呼び出す

走行が終了したら[MEN]ボタンを押します。これでデータ呼び出しモードに入り、ディスプレイには、最後のセッションのベストタイムを記録した周回のデータ(周回数・ラッ



プタイム・最高液温・最高回転数)が表示されます。

矢印キーで記録されているタイムすべてを閲覧することができます。後に進めるには[>>]キーを、前に戻すには[<<]キーを押します。各ラップの区間タイムは、ラップタイムの後に順次表示されます。

ラップタイムが表示されている状態でMEMボタンを押すと、その周回の最低液温・最低回転数が表示されます。

さらに、[MEM]ボタンをもう1回押すとリアルタイムリプレイモードになり、そのラップの走行状態を再現できます。細かく見たい場合は、[<<]と[>>]キーで0.1秒ごとに前後に動かすこともできます。なお、リアルタイムリプレイが可能なのは、最後の約14分間だけです。

データの消去

データを消去するには、CLEAR TEST DATA コマンドを使います。初期画面で[MENU]ボタンを2回押して、CLEAR TEST DATA と表示させてから、[MEM]ボタンを2回押します。

リファレンス

MYCHRON3-Club-各 부품の詳細

MYCHRON3 Club の各 부품の詳細と、取り付ける際の注意点は以下の通りです。

ディスプレイ

大きな表示領域を持つディスプレイには、エンジン回転数(rpm)が最上部にバーグラフ式で、左上に液温がデジタルで、左下に周回数がデジタルで、それぞれ表示されます。また、埋設磁石の上を通過すると、右下にデジタルでラップタイムもしくはスプリットタイムが大きく表示されます。また、右上のデジタル表示は、エンジン回転数(rpm)とベストタイムおよび電源電圧を[VIEW]ボタンによって切り替えることができます。

その他にも、小さなアイコンによって、液温の単位(セ氏[°C]か華氏)、バックライトの使用、バッテリーアラームが表示されます。

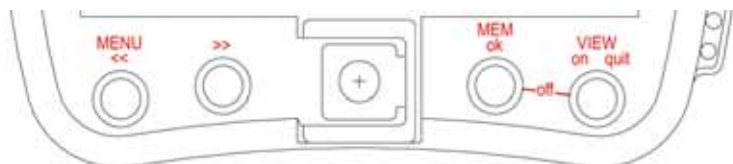
ほとんどのステアリングホイールは、穴のあいた3本のアームがあるので、MYCHRON3



Club をここに取り付けます。アームに穴があいていない場合には、位置決めをきちんと行って8から10mmの穴を加工してください。

ボタン

MYCHRON3 Club の本体下部には電源の制御やシステムの設定、さらに記録されたデータを読み出しまたは消去するための4つのボタンがあります。これらのボタンの主な用途は以下の通りです。



- [MENU / <<] : メニューを表示・前に戻る・バックライトオンオフ(走行中のみ)
- [>>] : 次に進む
- [MEM] : 設定メニュー内では確定・データの呼び出し
- [VIEW] : 電源を入れる・設定メニューを終了する・表示項目を切り替える(エンジン回転数のデジタル表示・ベストタイム・バッテリー電圧)

MYCHRON3 Club の電源は、[MEM]と[VIEW]を同時に押すことで切ることができます。また、電源を入れる際に[MENU/<<]と[>>]ボタンを押している場合、デモンストレーションモードになります。



MYCHRON3-Club-は非作動状態が10分間続くと自動的に電源が切断されます。

エンジン回転数センサ

エンジン回転数センサの先端にあるクリップをプラグコード(ハイテンションコード)に取り付けます。単気筒エンジンであれば、2サイクルでも4サイクルでも使用できます。配線を行う際には、他のセンサのケーブルと束ねないようにしてください。可能であれば、別系統になるようにケーブルをとり回してください。また、ケーブルの破損をさけるため、シャーシに沿わせて設置してください。

なお、MYCHRON3 Club はエンジン回転数の入力値が1,000rpmを越えた段階からデータの記録を開始するようになっています。従って、エンジン回転数センサを取り付けないと、ラップタイムなどのデータは記録されません。

液温センサ

MYCHRON3 Club には液温センサを一つ取り付けることができます。液温センサは2種類あり、液温センサ付属セットで購入時に選択したもののほかに、オプションで購入することもできます。

1. H2O - 液温センサ(M10 タイプ)
2. H2O - 液温センサ(M5 タイプ)

なお、MYCHRON3 Club で利用できる液温センサは白金測温抵抗体 Pt100 タイプ(黒のケーブル)だけです。

- 液温センサの取り付け

使用するエンジンのシリンダヘッドに M10 の取り付け部がある場合、M10液温センサを直接取り付けることができます。また、液温センサを取り付けるための、接続アダプタ(オプション)もあります。



ラップセンサ

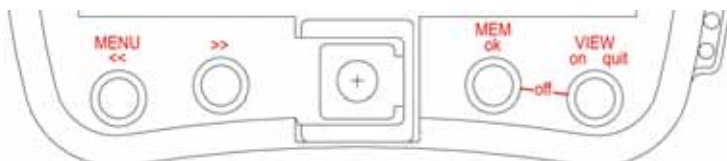
ラップタイムを計測するためには、サーキットに磁石が埋設されている必要があります。磁気式ラップセンサは、カートのパニアパネルに設置します。センサに記載されている矢印をカートの前後方向に合わせます。

MYCHRON3-Club-の設定方法

クイックスタートで説明した項目以外にも、MYCHRON3 には様々な設定項目があります。これらの項目の詳細は以下の通りです。

設定メニューの詳細

電源を入れた後、[MENU/<<]ボタンを押すと、各種パラメータの操作を行う設定モードに入ります。[MENU/<<]ボタンで次の設定項目に移り、[>>]ボタンで前の設定項目に戻れます。





設定モードを終了し初期画面に戻る場合には、[VIEW]ボタンを押します。

次から説明する設定モードの項目は、[MENU/<<]ボタンを押したときに現れる順番通りです。

-Night Vision (バックライト)



-Clear test data(テストデータクリア)

メモリに記録されているデータを消去します。

CLEAR TEST DATA と表示されている状態で、[MEM]ボタンを2回押すとデータが消去されます。[VIEW]ボタンで終了できます。

-Beacon obscuring time (ラップ信号無視時間)

ラップセンサからの信号を無視する時間を設定します。このパラメータを設定することで、複数の磁石が埋設されているコースでも、区間タイムを計測せずにラップタイムのみを計測できます。たとえば、ラップタイムが60秒のコースでは50と設定します(この場合、次項のNumber of Bandsは1にする必要があります)。ラップ信号無視時間は3秒から59秒まで設定できます。



ここで設定した時間は、区間タイム用磁石を含めて、すべてのラップ入力信号を無視します。設定を間違えるとラップタイムがきちんと計測できなくなりますので注意してください。



区間タイムを計測しない場合を除き、3秒から8秒程度の短い時間に設定しておいてください。

OBSCURING TIME が表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと、編集モードに入ります。

[MENU/<<]ボタンで点滅している桁の数字が一つずつ増加し、[>>]ボタンで修正する桁を移動させられます。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

-Number of Bands (埋設磁石数)

サーキットに磁石が何本埋設されているかを設定します。複数の磁石が埋設されている場合、この設定を正しく行うことで、最初の磁石からのスプリットタイムが計測できます。なお、磁石が複数ある場合でも、前述の Beacon obscuring time(ラップ信号無視時間)を使用することで、区間タイムを計測しないように設定できます。

NUMBER OF BANDSが表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。

[MENU/<<]ボタンを押すと数字が増加します。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

-Engine running time (累積走行時間)

エンジンの累積使用時間を表示させるランニングタイマーです。4つの独立したタイマーが装備されています。どのタイマーを使用するかは、次項の Engine Counter で設定します。このタイマーは、必要に応じてそれぞれリセットすることができます。

どのタイマーを使用しているかは、TIME ENGINE n の後に数字で表示されます。この状態で、[MEM]ボタンを押すと、上部に PRESS OK TO CLEAR と表示されるので、さらに [MEM] ボタンを押せば TOTAL ARE CLEARED と表示され、数値がゼロにリセットされます。リセットせずに終了する場合は、[VIEW]ボタンを押します。

-Engine Counter (ランニングタイマー選択)

4つ装備されているエンジンランニングタイマーから、利用するものを選択します。

ENGINE COUNTER が表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。

[MENU/<<]ボタンを押すと数字が増加します。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

-Temperature alarm (液温警告)

ここでは、警告表示を行うしきい値を設定します。MYCHRON3 Club は、ここで設定した値よりも液温が高くなると、ディスプレイに表示する液温の値を点滅させます。また、液温が設定値よりも下がれば、点滅しなくなります。液温警告は0から1999までの数字



を入力することができます。

TEMPERATURE ALARMI が表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと、編集モードに入ります。[MENU/<<]ボタンで点滅している桁の数字が一つずつ増加し、[>>]ボタンで修正する桁を移動させられます。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

-Max RPM value (最大回転数)

バーグラフ式タコメータの最大値を設定します。なお、ここで設定した数値よりも大きい入力があった場合には、ノイズと見なして、記録しません。

MYCHRON3 Club は最大回転数の設定を7種類用意しています。

8,000rpm、10,000rpm、12,000rpm、16,000rpm、20,000rpm、22,000rpm、25,000rpm

MAX RPM VALUE が表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。

[MENU/<<]ボタンを押すと数字が増加します。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

-Spark for Revs (一回転あたりの点火パルス数)

エンジンが一回転することに発する点火パルスの数を設定します。

SPARK FOR REVS が表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。

[MENU/<<]と[>>]ボタンを押すことで、設定値を変更できます。設定値はx1、x2、/2の3つから選択できます。単気筒二サイクルエンジンの場合は、x1を選択します。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の値に変更は加えられません。

-Temperature measure unit (液温表示単位)

液温計の表示単位をセ氏(°C)と華氏(°F)から選択することができます。

FAHRENHEIT/CELSIUSが表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。

[MENU/<<]と[>>]ボタンを押すことで、設定値を変更できます。選択にあわせて、液温表示部の左側に°Cと°Fのマークが示されます。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の値に変更は加えられません。



-Message language (表示言語)

MYCHRON3 Club はディスプレイに表示させる言語を選択できます。

MESSAGE LANGUAGEが表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。

[MENU/<<]と[>>]ボタンを押すことで、設定値を変更できます。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の値に変更は加えられません。

-Power Source

-Firmware Information (ファームウェアバージョン)

電源投入時と同様、ファームウェアのバージョンを確認できます。左上に数字が表示されます。

使用方法の詳細

MYCHRON3 Club の電源を入れるといくつかの情報が表示されます。詳細は以下の通りで、この順番に表示されます。

- Aim 1_XY ファームウェアバージョン
- MYCHRON3 機器の名称
- MEMORY TOTAL FREE / TEST X LAP Y メモリの状態を表示: 最初のメッセージが表示されている場合、MYCHRON3 Club のメモリには何もデータが記録されていないことを表します。後のメッセージは、最後の周回数がYで最後のテストセッションがXであることを表します。

MYCHRON3 Club はラップタイムのほかに、エンジン回転数と液温のデータをサンプリングレート 10Hz(毎秒 10回)で約 14 分間記録することができます。



MYCHRON3 Club は取得したデータをセッションごとに「テスト(Test)」として分割し、すべての周回を記録します。テストを新たにするには、[MEM]と[VIEW]ボタンを同時に押して一度電源を落としてから、[VIEW]ボタンで再度入れ直します。

走行中の表示

MYCHRON3 Club には、走行を開始すると "Test 01" (もしくはメモリがクリアされていない場合は現在のテスト番号)が表示されます。そして、車両が埋設されている磁石の上を通過すると、"Lap 001" と表示されます。

前章に記述されている「埋設されている磁石の数」が2以上の場合、設定された数まで "Split Number x" と表示され、ベストタイムとの差が同時に表示されます。すべてのスプリットタイム計測用磁石を通過し、最初の磁石に戻るとラップタイムが表示されます。ベストラップタイムが記録されると、"Best Lap Time" と表示されます。

走行が終了すると、ディスプレイには最後の周回の周回数とラップタイムが表示されます。[MEM]ボタンを押すとメモリに記録されているデータにアクセスすることができます。

ベストラップタイムを表示する

ベストラップタイムを表示させるには、初期画面で[MEM]ボタンを押します。最後のセッション(テスト)のベストタイムが表示されます。

同時に、そのラップのテスト番号、周回数、液温とエンジン回転数の最高値が表示されます。ラップタイムが点滅しているのは、そのセッション(テスト)のベストタイムであることを示すためです。

この状態で[MEM]ボタンを再度押すと、そのラップの液温とエンジン回転数の最低値が表示されます。

初期画面に戻るには、[VIEW]ボタンを押します。

ほかのラップのデータを呼び出す

初期画面で、[MEM]ボタンを押してベストタイムを表示させます。[MENU/<<]ボタンを押すと前のラップが表示され、[>>]ボタンで次のラップが表示されます。スプリットタイムを計測するように設定してあれば、ラップごとのスプリットタイムが表示されます。[MEM]ボタンを押すとそのラップのエンジン回転数と液温の最低値を表示させることができます。

2つ以上のテストが残っている場合でも、[MENU/<<]ボタンで前のテストを呼び出せま

す。[MENU/<<]と[>>]ボタンは、押し続けるとリピートになり、素早く移動できます。

特定のラップの詳細なデータを呼び出す

特定のラップの詳細なデータ(最後の約14分間のみです)を表示させる方法には、オートとマニュアルの2種類あります。

- オートリプレイ

初期画面で、[MEM]ボタンを押してから、[MENU/<<]と[>>]で見たいラップを呼び出します。その後、[MEM]ボタンを2回押します。すると、そのラップの最初から最後まで、エンジン回転数・液温・経過時間が、自動的に再現されます。このデータは、0.1秒ごとの間隔で表示されています。オートリプレイを終了するためには、[MEM]ボタンを押します。また、[VIEW]ボタンを押せば初期画面に戻ります。

- マニュアルリプレイ

オートリプレイの最中に[>>]か[MENU/<<]ボタンを押すと、オートリプレイが停止します。この状態で、[MENU/<<]ボタンを押せば、0.1秒ずつ前のデータを表示させられます。また、[>>]ボタンで0.1秒ずつ後に進ませることができます。[MEM]ボタンを押せば、オートリプレイモードになります。[VIEW]ボタンを押せば、初期画面に戻ります。

記録されているデータを消去する

「MYCHRON3 Club の設定方法」のテストデータクリアを参照してください。

メンテナンス

MYCHRON3 Club は、特にメンテナンスする必要はありません。

ディスプレイユニットと各部品を丁寧に扱っていただければ、ディスプレイの右上にローバッテリー表示がでたときに電池を交換するだけです。なお、バッテリーカバーのねじを締めすぎないように注意してください。

電池の交換

MYCHRON3 Club は単4型アルカリ乾電池を2本使用します。新品に交換してから最大約40時間使用することができます。電池の交換が必要になると(電圧が2V以下)バッテリーインジケータがディスプレイの右上に表示されます。

さらにバッテリー電圧が低く(1.7V以下)になると、

LOW BATTERY

と表示され、さらに低くなると、自動的に電源が切れます。



バッテリーインジケータが表示されたら、使用中に電源が落ちる可能性があるので、電池を2本とも交換してください。

電池交換は次の手順で行います。ディスプレイ裏側の電池カバーを止めている2本のねじをゆるめ、カバーを取り外してください。電池パックを引き抜き、ディスプレイから取り外します。電池を交換したら、電池パックの向きを間違えないように(電池が中心側を向きます)、取り付けます。



電池パックの基盤が、うまく溝にはまり、コネクタが接続されます。電池カバーを取り付ける際には、ねじを締めすぎないように注意してください。

クイックリファレンス

各種設定を行う

[VIEW]ボタンで電源が入ります。

[MENU/<<]ボタンで設定モードになります。

[MENU/<<]と[>>]ボタンで設定項目を選択できます。

■埋設磁石数を変更する

Number of Bands を表示させます

[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。

[MENU/<<]ボタンで数字を変更します。

[MEM]ボタンを押して確定するか、[VIEW]ボタンで終了します。

■ラップ信号無視時間を変更する

Obscuring Time を表示させます。

[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。

[MENU/<<]ボタンで数字を変更します。

[>>]ボタンで桁を移動します。

[MEM]ボタンを押して確定するか、[VIEW]ボタンで終了します。

■最高回転数を設定する

Maximum RPM value を表示させます。

[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。

[MENU/<<]と[>>]ボタンで選択します。

[MEM]ボタンを押して確定するか、[VIEW]ボタンで終了します。

■温度警告値を設定する

Temperature Alarm を表示させます。

[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。

[MENU/<<]ボタンで数字を変更します。

[>>]ボタンで桁を移動します。

[MEM]ボタンを押して確定するか、[VIEW]ボタンで終了します。

使用する

[VIEW]ボタンで電源が入ります。

■バストラップを表示する

[MEM]ボタンを押します。

[VIEW]ボタンで初期画面に戻ります。

■ほかのラップを表示する

[MEM]ボタンを押します。

[MENU/<<]ボタンで前のラップに、[>>]ボタンで後のラップに移動します。

[VIEW]ボタンで初期画面に戻ります。

■ラップの詳細なデータを表示する

- オートリプレイ

[MEM]ボタンを押します。

[MENU/<<]と[>>]ボタンで見たいラップを選択します。

[MEM]ボタンを2回押します。

[MEM]ボタンを押すとリプレイを終了します。

[VIEW]ボタンで初期画面に戻ります。

- マニュアルリプレイ

[MEM]ボタンを押します。

[MENU/<<]と[>>]ボタンで見たいラップを選択します。

[MEM]ボタンを2回押します。

[MENU/<<]か[>>]ボタンでオートリプレイを終了します。

[MENU/<<]ボタンで0.1秒前のデータになります。

[>>]ボタンで0.1秒後のデータになります。

[MEM]ボタンでオートリプレイが再開されます。

[VIEW]ボタンで初期画面に戻ります。

サポート

24時間無償サポートをご利用下さい。

© Aim s.r.l. 日本語オフィシャルウェブサイト サポートページ

<http://www.aimsports.jp/support/index.html>

お問い合わせが多いトラブルの解決方法など、FAQを掲載しています。また、最新のソフト・ファームウェアなどを入手できます。

©故障・修理等のお問い合わせ先は、下記の通りです。

電子メール info@aimsports.jp

FAX 03-6452-4594



Aim s.r.l

Via Cavalcanti 8,

20063 Cernusco sul Naviglio - MI

Italia

<http://www.aim-sportline.com/>

BEAR
RACING SERVICE

RACING GEAR
BEAR RACING SERVICE
<http://www.bear-racing.co.jp/>

有限会社ベア (BEAR inc.)

〒152-0003

東京都目黒区碑文谷5-25-9

<http://www.aimsports.jp/>
